

2024

コースガイド

洋画コース



学校法人 瓜生山学園

京都芸術大学 通信教育課程

洋画コースでは、一人一人の個性的な作品づくりのために、構想力と表現力を身につけ、「生涯いきいきと描きつづけられること」の素地づくりを教育目標としています。

1年次、2年次の専門教育科目はデッサンと油彩の基礎です。デッサンでは対象を描きながら、形、明暗、量感、空間、構図など造形に必要なさまざまなことについて学びます。油彩では油絵具で描く基礎を重ね、技法や色彩原理についても修得します。ここで大切なのは、絵を描く為に必要な見方や考え方は、手を動かし枚数を重ねるにつれて解ってくるということです。課題をこなすという意識ではなく積極的に取り組んでください。また、テキスト科目の提出作品が再提出になっても、再度チャレンジしてやろうという意欲を持って描いてください。それがテキスト科目をクリアしていくコツともいえます。研究室も最終締切りを考えて指導していきます。

3年次、4年次の専門教育科目では、個性的な表現を探り拓けていきます。それぞれ自分の想いはあっても、どう表現すれば良いかが問題になります。みなさんが提出してくださった課題作品を見ると、描写力の優れた人、色彩感覚の豊かな人、ユニークな発想の人、各々の学生の良さが見えてきます。その特性を個性的な表現に繋げるためには、自分の足元を掘り下げていくとともに、新しいことに挑戦する気概も必要でしょう。

また、提出される作品の中には、アイデアが先行し描き込み不足の作品も目にします。それぞれ事情があると思いますが、自分の造形を掴むためにはここで粘るガンバリが大切になります。

洋画コースのカリキュラムは、テキスト科目とスクーリング科目を連動させるシンプルな形を目指し、更に受講もしやすく工夫しています。通信教育部での学習は自宅学習が中心となります。一人で悩まずに質問票や対面相談の機会を活用し、意義のある学生生活を送るように心がけてください。

目次

1. [新入生のみなさんへ]学習をはじめるにあたって……………	2
2. [在学生のみなさんへ]2024年度からの変更事項と注意点……………	5
3. 学習を進めるにあたって……………	6
4. 専門教育科目一覧……………	7
5. 卒業制作着手要件・卒業要件……………	8
6. カリキュラムマップ……………	10
7. 履修条件図……………	11
8. スクーリング日程一覧……………	12
9. 履修モデル……………	16
10. 専門演習テキスト科目(TW・TX)……………	19
11. 専門演習スクーリング科目(S)……………	21
12. 学習支援……………	24
13. テキスト購入……………	26

コースガイドを使って履修計画をたてましょう

通信教育では通学制と異なり自分で履修プランをたて学習をすすめることが重要です。入学許可後は、airU学習ガイドやシラバスを確認して履修計画をたてましょう。airUマイページでは履修プランを作成することができます。



本学通信教育課程では「履修登録」がありません。年度途中に新規科目に取り組むことも可能です。また、履修状況や学習環境の変化によって履修プランをたてなおし、学習をすすめていくことができます。

1. [新入生のみなさんへ]学習をはじめるとにあって

●ご挨拶

新入生の皆さま。洋画コースへご入学おめでとうございます。これから始まる絵画制作は基礎デッサンから卒業制作まで多岐にわたる内容を備えています。学習を始めるにあたり、このコースガイドをいつも傍に置いて頂き皆様の学習サポートにお役立てください。airUマイページへのアクセスや新入生ガイダンスへの参加等を通して洋画での学びを自分のものにして頂き、本格的な絵画制作を学んでいただきたく思います。

●まずは「airUマイページ」にアクセスしよう

洋画コースでは、テキスト科目、スクーリング科目ともに学習用Webサイト「airUマイページ」を利用して学習に取り組みます。課題の提出やシラバス、教材等の閲覧はもちろん、通信教育課程で学習を進めるにあたっての各種手続き（スクーリングの申し込みや各種証明書の申し込み、学籍更新手続き）もairUマイページから行うことができます。（▶airUマイページの使い方は本書p.3参照）

●「新入生ガイダンス」に出席しよう

「新入生ガイダンス」（4月は京都・東京で開催、5月はオンライン開催）に参加し、履修計画の立て方や履修方法などについて理解を進めましょう。別途、airUマイページ「教材BOX」にガイダンス資料を掲載予定ですので、当日参加いただけない方は資料を確認しましょう。

●テキストを購入しよう

学習を始めるにあたり、洋画コースのテキストを購入してください。

テキストの購入については、airU学習ガイド>4.教材・テキスト>【美術科】テキストの入手方法をご確認ください。（▶本書p.26参照）

●「履修モデル」を参考に履修計画をたてよう

まず始めに、お手元の「入学許可証・卒業要件通知」または本書pp.8～9で卒業制作着手要件と卒業要件を確認しましょう。

次に、何年かけて卒業するかを考えてみましょう。それにより、1年間で修得する単位数が自ずと決まってきます。本コースのテキスト科目とスクーリング科目は学習内容が関連付けられていますので、そのことを念頭におきながら、卒業までの履修計画を作成されることをお勧めします。

卒業する為には、コース専門教育科目だけでなく、学部共通専門教育科目等の履修が必要です。

本書pp.16～18の「履修モデル」は、最短の年数で卒業されると仮定した場合の年間学習モデルを紹介しています。入学年次や資格取得の有無、学びのペースによって履修内容は異なりますので、各自該当する履修モデルをもとに履修計画を立ててください。計画に狂いが生じた場合は随時計画を見直しましょう。

●卒業へ向けて「卒業制作着手要件」のクリアを目指そう

卒業制作に着手するためには、卒業制作に着手する前年度までに「卒業制作着手要件」（▶本書p.8参照）を満たしていることが必要となります。

最短での卒業を目指される場合は、少なくとも以下の条件を満たしておく必要があります。

- 1年次入学生の場合：2026年度末までに「卒業制作着手要件」を満たすこと。
- 3年次編入学生の場合：2024年度末までに「卒業制作着手要件」を満たすこと。

●3年次編入学生（卒業要件62単位以上・専門52単位以上）の皆さんへ

1年次配当科目から履修を始めますが、入学初年度から、3年次配当科目までの履修が可能です。ただし科目によっては履修の前提条件がある場合がありますし、ステップアップで学んでいただくのが一番効率的であることを踏まえ、綿密に計画を立ててください。

2年間ですべてのカリキュラムを履修するには相当な学習時間と努力が必要です。また、2年目で卒業制作に着手できても、それ以前に大作のための取材ができていなければ思うような結果を残すことができません。事情が許すならば2年間という期間にとらわれず、できるだけ時間をかけて、じっくりと一つ一つのステップを習得していただくのが理想的です。

●学習支援を活用しよう

・学習に関する質問（▶airU学習ガイド>問い合わせ方法参照）

学習を進めるうえで困ったことがあったら、コンシェルジュ、またはメール（question@air-u.kyoto-art.ac.jp）等で質問しましょう。

・その他の学習支援については、本書pp.24～25参照。

「airU (エア－ユー)」マイページの使い方

airUマイページを利用するには、Web環境の整ったPCやタブレット端末、スマートフォンなどが必要です。問題なくairUを利用するには、システムの要件を満たしている必要があります。(airUシステム要件の詳細はairU学習ガイド>まずはじめに>airUシステム要件参照)

ログインアカウントとパスワードが届いたら、まずはアクセスしてみましょう。 airUマイページ：QRコード
airUマイページ <https://air-u.kyoto-art.ac.jp/>

検索 airU 京都芸術大学 ログイン



airU マイページを使ってみよう

洋画コースでは、コース専門教育科目の学習をサポートするべく動画教材や参考作品を充実させています。これらは、airUマイページ内にある「カリキュラム一覧(シラバス)」から閲覧可能ですので、必ずアクセスして活用してください。

(▶airUマイページでできることの詳細はairU学習ガイド参照)

airUシラバス、動画教材や参考作品の閲覧のしかた

①airUマイページにログインすると、以下のような画面が表示されます。

各種コンテンツの使い方については、airU学習ガイド>airUマイページをあわせて確認しましょう。

まずは「教材BOX」にある新入生ガイダンス資料をチェックしましょう。

学籍情報や成績など
・学籍情報
・成績
・藝術学舎受講履歴
・学費
上記項目が確認できます

コンシェルジュ
お問い合わせフォーム
学習ガイド
学習するうえで必要な情報が掲載されています

教材BOX
各科目共通の資料や入学ガイダンス資料を確認できます

お知らせ
事務局や研究室からのお知らせが確認できます(こまめに確認が必要です)

履修プラン
履修プランを立てる事が出来ます

スクーリング申込
スクーリングを申込や申込状況が確認できます

カリキュラム一覧(シラバス)
各科目の『シラバス』(科目概要や評価基準、課題の内容など)を確認することができます

②つぎにシラバスを確認してみましょう。

「カリキュラム一覧(シラバス)」をクリックすると、以下のような画面が表示されます。カリキュラム一覧の「コース専門教育科目」の中から、確認したい科目をクリックして選択してください。シラバスが閲覧できます。

まなぶ > 履修プランを立てる

カリキュラム一覧

コース専門教育科目

区分	科目名	単位数	開講期	状況
TW	洋画演習Ⅰ-1	2	通年	履修中
TW	洋画演習Ⅰ-2	2	通年	未履修
S	洋画Ⅰ-1 半期集中セッション	1	通年	単位取得済

コース専門教育科目
洋画コースのテキスト科目、スクーリング科目を確認することができます。

③カリキュラム一覧の「コース専門教育科目」の中から確認したい科目をクリックすると、以下のような画面が表示されます。ここではテキスト科目「洋画演習 I-1」をクリックしてみました。

画面の上部には、その科目の内容が左から項目ごとに学習の流れに沿って表示されていますので、すべてをよく確認しながら課題に取り組んでください。テキスト科目の動画教材や参考作品を閲覧したい場合は、その中にある「テキスト・教材学習」をクリックしてください。

※スクーリング科目の場合は、「事前課題」をクリックしてください。表示される画面の基本的な構造は同じです。

Text Work

洋画演習 I-1

シラバス

テキスト・教材学習

作品第1課題作成

添削結果確認

テキスト・教材学習

作品第2課題作成

添削結果確認

シラバス

科目の概要

科目名	洋画演習 I-1	科目コード	62601
担当者	由井武人、古野恵美子、水口裕務、西垣肇也樹、山河全*		
履修形態	テキスト作品科目 (TW)	単位数	2
配当年次	1年次～	開講期	通年
履修の前提条件	なし		

Text Work

テキスト・教材学習

動画教材や参考作品を確認することができます。テキスト科目には作品第1課題と作品第2課題があるので、各課題ごとに確認してください。

④「テキスト・教材学習」をクリックすると、以下のような画面が表示されます。画面の上部に「1」、「2」…と表示される場合には、複数ページに分けられて課題の動画教材や参考作品が収められていますので、すべてをよく確認して課題に取り組んでください。画面下にスクロールしていくと、動画教材や参考作品が一覧になって表示されます。閲覧したいもの一つずつクリックしてください。

Text Work

洋画演習 I-1

シラバス

テキスト・教材学習

作品第1課題作成

添削結果確認

テキスト・教材学習

作品第2課題作成

添削結果確認

1 新入生ガイダンス資料

2 第1課題 動画教材、作品例

3 第1課題 学生作品例

第1課題 動画教材、作品例

説明

- 1.鉛筆デッサンの基本 Part1
- 2.鉛筆デッサンの基本 Part2
- 3.鉛筆デッサンの基本 Part3
- 4.3点1-1第一課題「構え探求」鉛筆デッサン
- 5.鉛筆デッサンの基本
- 6.洋画演習 1-1第1課題作品例

1. 鉛筆デッサンの基本 Part1

動画教材の基本

一つずつクリックして閲覧してください。

複数ページに分けられて動画教材や参考作品が収められている場合があります。「1」から順にクリックし、選択してください。

左右の「<」「>」をクリックするとバーが移動します。

⑤配当年次に達していない科目、および受講許可がでていないスクーリング科目の場合は公開されません。ただし、科目により一部の動画教材や参考作品は、画面右下の「課題・教材を確認」をクリックすると閲覧可能になる場合があります。

3.再提出用添削指導評定書（「予備ファイル」巻末書きをコピーし必要事項を記入）

4.前送提出（＝D評価）の提出物すべて（添削指導評定書（添削文含む）、D評価の作品、添削入り作品コピー）

5.添削指導評定書にて教員が提出するように指定したものを

6.作品返却用宅配便着払い伝票（返送先明記）

■再提出にあたっての注意事項

- 再提出時のレポートについて
- 添削文を読み、返却された作品をじっくりと見つめ直してください。そして、再度取り組んだ課題についての感想・画想を新たに書き、初回提出時のレポートとともに提出してください。

課題提出期間

【4/20締切分】4/11～4/20、【5/21締切分】5/11～5/21、【7/20締切分】7/11～7/20、【8/20締切分】8/11～8/20、【10/20締切分】10/11～10/20、【11/20締切分】11/11～11/20、【1/21締切分】1/11～1/21 【2/20締切分】2/11～2/20

※郵送・窓口での提出は締切日必着

カリキュラムに戻る

シラバスの出力

こちらをクリックし、ダウンロード印刷が可能です。

シラバスPDF出力

課題・教材を確認

課題・教材を確認

科目の資料を確認したいが画面に表示されないという場合には、このオレンジ色のアイコンをクリックしてみてください。

2. [在学生のみなさんへ]2024年度からの変更事項と注意点

- コース専門演習T科目に関し、課題の提出方法を変更します。

対象科目

- ・洋画演習Ⅲ-1
- ・洋画演習Ⅲ-2

変更内容：レポート課題の提出はairUのみとし、作品提出は従来の方法に加え、課題作品の画像をairUでも提出してください。

- ・洋画演習Ⅳ

変更内容：第1課題の提出方法をairUのみとします。airUから提出してください。

画像提出方法はシラバスをよく読み、シラバスに従って提出をしてください。

- コース専門S科目、TW科目について、指定キャンバスのサイズが25号から20号へ変更します。

対象科目

S科目：

- ・洋画Ⅴ-1
- ・洋画Ⅴ-2
- ・洋画Ⅴ-9

TW科目：

- ・洋画演習Ⅲ-1
- ・洋画演習Ⅲ-2

- コース専門S科目の事前課題について、一部科目の課題内容が変更します。

対象科目

- ・洋画Ⅱ-2
- ・洋画Ⅳ-2
- ・洋画Ⅲ-2

いずれの変更点も、

前年度中に不合格となった課題を再提出する場合は特に注意が必要です。

必ず2024年度シラバスを確認したうえで課題に取り組んでください。

3. 学習を進めるにあたって

学習を進めるにあたっては、airU学習ガイドもあわせて参照してください。

1. 履修形態

通信教育課程における開講科目は、「テキスト科目」と「スクーリング科目」に大きく分けられます。本学通信教育課程では、自宅学習や対面授業、レポートや作品など課題によって科目の形態が6種類あります。

テキスト科目	TR	テキストレポート科目	レポート課題と単位修得試験のある科目	自宅学習
	TW	テキスト作品科目	作品課題の科目	
	TX	テキスト特別科目	卒業関連科目、論文研究など特別な科目	
スクーリング科目	WS	ウェブスクーリング科目	Web上での動画学習とレポート試験/作品課題がある科目	対面/遠隔授業
	S	スクーリング科目	対面/遠隔授業のある科目	
	GS	芸術学舎科目	本学が開講する公開講座芸術学舎を受講する科目	

2. 履修期間・課題提出期間

それぞれ3ヶ月タームで履修の区切りがあります。課題提出期間は科目区分によって決まっています。

課題提出・単位修得試験スケジュール	春期			夏期			秋期			冬期		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
TR テキストレポート科目	レポート 21~30		試験 1~8	レポート 21~30		試験 1~8	レポート 21~30		試験 1~8	レポート 21~30		試験 1~8
TW テキスト作品科目	作品 11~22	作品 11~20		作品 11~22	作品 11~20		作品 11~21	作品 11~20		作品 11~20	作品 11~20	
TX テキスト特別科目	課題の提出期間は科目により設定されます。											
WS Webスクーリング科目		レポート 21~28	最終講評 13~20		レポート 21~28	最終講評 13~20		レポート 21~28	最終講評 13~20		レポート 21~28	最終講評 13~20
S スクーリング科目	春期先行募集 2~6	夏期先行募集 17~25			秋期先行募集 17~26			冬期先行募集 16~25				2024年度 春期先行募集 4月上旬
	春期追加募集 16~(開講30 ~5日前)		夏期追加募集 10~(開講30 ~5日前)		秋期追加募集 10~(開講30 ~5日前)			冬期追加募集 10~(開講30 ~5日前)				
GS 芸術学舎科目			夏季申込 6月初旬~			秋季申込 9月初旬~			冬季申込 12月初旬~			2024年度 春季申込 3月初旬~

- ・対面の単位修得試験の今年度の試験実施日と受験申込期間はairU学習ガイドを参照してください。
- ・スクーリング科目における追加募集の締切日につきましては、airUマイページ>スクーリング>「スクーリングを申し込む」>スクーリング一覧より確認してください。

卒業判定にかかる方は卒業関連科目以外の科目を冬期（1月～3月）に履修することはできません。

※ただし、卒業要件の必修TR・TW科目において、秋期（10月～12月）のレポート・作品課題もしくは単位修得試験が不合格かつ当該科目以外の卒業要件を充たす見込みの方に限り、冬期の履修を認めることがあります。詳細はairU学習ガイド>学習方法>卒業判定>卒業予定者のスケジュールを確認してください。

3. 課題提出方法

課題提出形態は「airU」「郵送」「窓口」の3種類です。科目により「airU」のみで受け付けるもの、「郵送」または「窓口」のみで受け付けるものもあります。それぞれの締切日の到着は、「airU」は13時までに大学のサーバーに着信済、「郵送」は本学に必着、「窓口」は京都・瓜生山キャンパス通信教育課程事務局窓口にて17時までに受付済、と定められています。

4. 単位修得試験

テキストレポート科目（TR）では、レポート合格後に単位修得試験が受験可能です。単位修得試験はWeb（airUマイページ）で受験できます。

5. スクーリングの申し込み方法・キャンセル

スクーリング科目（S）の申し込みは3ヶ月ごとに募集を行います。申込スケジュールを確認し、期日以内にairUマイページより手続きしてください。また、受講許可後はキャンセル時期により10～100%のキャンセル料が発生します。

6. 芸術学舎科目

年4回3ヶ月ごとの季に分けて開講している一般公開講座です。講座を受講することで通信教育部で有効な単位の修得が可能です。詳細は、芸術学舎Webサイト、パンフレットを参照してください。芸術学舎の単位認定に関してはairU学習ガイド>教育課程>単位認定>芸術学舎取得単位の認定を確認してください。

4. 専門教育科目一覧

科目一覧						卒業要件				配当年次 (注2)	
科目群	科目区分	科目コード	科目名 サブタイトル	単位数	S/T	2021年度以降入学		2020年度以前入学			
						1年次入学	3年次編入学	1年次入学	3年次編入学		
						124単位以上 (S科目(WS-S-GS) 30単位以上)	62単位以上 (専門52単位以上)	124単位以上 (S科目(WS-S-GS) 30単位以上)	62単位以上 (専門52単位以上)		
学部共通専門 教育科目(注1)				合計		20単位以上	12単位以上	20単位以上	12単位以上		
コース専門演習 T科目	62601	洋画演習Ⅰ-1		2	TW	●	●	●	●	1年次～	
	62602	洋画演習Ⅰ-2		2	TW	●	●	●	●		
	62603	洋画演習Ⅱ-1		2	TW	●	●	●	●	2年次～	
	62604	洋画演習Ⅱ-2		2	TW	●	●	●	●		
	62605	洋画演習Ⅲ-1		2	TW	●	●	●	●	3年次～	
	62606	洋画演習Ⅲ-2		2	TW	●	●	●	●		
	62607	洋画演習Ⅳ		4	TX	●	●	●	●	4年次	
	合計						16単位	16単位	16単位	16単位	
	コース専門演習 S科目	62001	洋画Ⅰ-1	鉛筆デッサン	1	S	●	●	●	●	1年次～
		62002	洋画Ⅰ-2	木炭デッサン1	1	S	●	●	●	●	
		62003	洋画Ⅰ-3	木炭デッサン2	1	S	●	●	●	●	
		62004	洋画Ⅱ-1	静物油彩1	1	S	●	●	●	●	2年次～
		62005	洋画Ⅱ-2	人体油彩1	2	S	●	●	●	●	
		62006	洋画Ⅲ-1	人体油彩2 - 塑造と油彩	2	S	●	●	●	●	
		62007	洋画Ⅲ-2	風景を描く	1	S	●	●	●	●	
		62008	洋画Ⅳ-1	静物油彩2 - 構成	2	S	●	●	●	●	3年次～
		62009	洋画Ⅳ-2	コンポジション	1	S	●	●	●	●	
		62010	洋画Ⅴ-1	花	2	S	●	●	●	●	
		62011	洋画Ⅴ-2	人	2	S	●	●	●	●	3年次～
		62025	洋画Ⅴ-8	構想 ※2021年度より開講(注3)	2	S	—	—	いずれか1科目を選択必修		
62026		洋画Ⅴ-9	抽象	2	S	●	●	●	●	4年次	
62091		卒業制作		6	S	●	●	●	●		
合計						24単位	24単位	24単位	24単位		
その他	総合教育科目、学部共通専門教育科目、コース専門演習S科目・TW科目（編入学生で必修以外の科目がある場合）、資格関連科目などから自由選択。										
総合計						124単位以上	62単位以上	124単位以上	62単位以上		

TW：テキスト作品科目、TX：テキスト特別科目、S：スクーリング科目

●：必修科目

(注1) 2023年度より、2019年度以前入学の方の「造形基礎演習1」「造形基礎演習2」必修は廃止されました。

(注2) 配当年次：履修のための前提条件であり、その年次に到達しないと履修はできません。さらに、科目に履修の前提条件がある場合は、その条件を満たす必要があります。(詳細は本書p.19、21参照)

(注3) 2020年度以前に「洋画Ⅴ-8 (構想)」を履修済の方は、「洋画Ⅴ-8 (構想)」として単位認定し、卒業要件に含みます。

5. 卒業制作着手要件・卒業要件

1. 卒業制作着手要件について

卒業制作に取り組む前年度末までに「卒業制作着手要件」(下記【1】)を満たせば、次年度以降、卒業制作に取り組めます。

- 卒業制作着手判定や卒業判定、2024年度卒業予定者のスケジュール等は「airU学習ガイド>3.学習方法>卒業判定>卒業予定者のスケジュール」を参照してください。

卒業制作について

- 卒業制作着手要件を満たせば、卒業年度の春期に、前半のスクーリング「卒業制作1、2」が受講できます。
- 「卒業制作3～6の履修の前提条件」(下記【2】)を、秋期スクーリング申込の所定の時期(下記【3】)までに満たせば「卒業制作3～6」が受講できます。

卒業制作申込について

「卒業制作」は前半(「卒業制作1～2」)、後半(「卒業制作3～6」)の2回申し込みが必要です。

- 「卒業制作1、2」…春期申込期間に2つのスクーリングを同時申し込み。
- 「卒業制作3～6」…秋期申込期間に4つのスクーリングを同時申し込み。

※追加募集締切後の受講地(開講形態)の変更は認めません。申込時注意してください。

【1】 卒業制作着手要件

入学区分(卒業要件)	科目群	修得すべき単位数	備考
1年次入学 (124単位以上)	学部共通専門教育科目	12単位以上	
	コース専門演習T科目	8単位以上	「洋画演習Ⅰ・Ⅱ」必修
	コース専門演習S科目	12単位以上	「洋画Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」必修
	その他	(注1)	
	合計	90単位以上	3年以上在籍していること(休学期間を除く)
3年次編入学 (62単位以上・ 専門52単位以上)	学部共通専門教育科目	8単位以上	
	コース専門演習T科目	8単位以上	「洋画演習Ⅰ・Ⅱ」必修
	コース専門演習S科目	12単位以上	「洋画Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」必修
	その他	(注1)	
	合計	32単位以上	1年以上在籍していること(休学期間を除く)

【2】 「卒業制作(3～6)」の履修の前提条件

入学区分(卒業要件)	科目群	科目
全て	コース専門演習T科目	「洋画演習Ⅲ-1」「洋画演習Ⅲ-2」 単位修得済または単位修得見込
	コース専門演習S科目	「洋画Ⅴ-1～9」から4単位以上単位修得済または単位修得見込
		「卒業制作1、2」履修中

「卒業制作(3～6)の履修の前提条件」のコース専門演習T科目を、卒業制作に取り組む前年度末までに満たしておくと、着手年度は卒業制作に集中して取り組めるため、できるだけ早期に前提条件を満たすことをお勧めします。

【3】 「卒業制作(3～6)」受講申込時期と履修の前提条件の充足期日

「卒業制作(1、2)」を受講し、【2】を下記「先行募集」「追加募集」いずれかの申込期間内に満たしていれば「卒業制作(3～6)」が申込できます。

スクーリング 開催回	申込期間		テキスト課題の期日	スクーリングの期日	
			洋画演習Ⅲ-1、 洋画演習Ⅲ-2	洋画Ⅴ-1～9から 4単位以上	卒業制作 1、2
秋期 (10～12月開講)	先行募集	8/17～8/26	7月度(7/22【必着】)までに提出し、単位修得済または単位修得見込であること	7月末までに単位修得済または単位修得見込	履修中
	追加募集	9/10～10/12	8月度(8/20【必着】)までに提出し、単位修得済または単位修得見込であること	9月末までに単位修得済または単位修得見込	

- 秋期(10～12月開講)の申込時期に「卒業制作3～6」4つのスクーリングをすべて申し込んでください。
- 卒業制作スクーリングでは原則として定員を設けません。必ず追加募集を行います。

2.卒業要件について

2024年度卒業予定の方は卒業関連科目（「卒業制作」「洋画演習Ⅳ」）以外の科目を冬期（1月～3月）に履修することはできません。秋期（10～12月）までに卒業関連科目以外の科目の履修を完了してください。特にTR科目は12月の単位修得試験を受験するには10月度にレポート提出し合格する必要があります。また、卒業制作はTX科目「洋画演習Ⅳ」（4単位）とスクーリング科目「卒業制作」（6単位）を一括認定します。課題の一つ、あるいはスクーリングの一つでも合格できなければどちらの科目も単位修得できません。

【1】卒業要件

入学区分(卒業要件)	科目群	修得すべき単位数	備考
1年次入学 (124単位以上)	総合教育科目	指定なし	
	学部共通専門教育科目	20単位以上	
	コース専門演習T科目	16単位	「洋画演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」必修
	コース専門演習S科目	24単位	「洋画Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ」「卒業制作」必修(注2)
	その他	(注1)	
	合計	124単位以上	スクーリング科目（WS・S・GS）30単位以上
3年次編入学 (62単位以上・ 専門52単位以上)	総合教育科目	指定なし	
	学部共通専門教育科目	12単位以上	
	コース専門演習T科目	16単位	「洋画演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」必修
	コース専門演習S科目	24単位	「洋画Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ」「卒業制作」必修
	その他	(注1)	
	合計	62単位以上	

・編入学生の卒業要件については、お手元の「入学許可証・卒業要件通知」をご確認ください。

(注1)「その他」については、総合教育科目、学部共通専門教育科目、コース専門演習S科目・TW科目（編入学生で必修以外の科目がある場合）、資格関連科目などから自由に選択し合計単位数を満たすこと。

(注2)「洋画Ⅴ」科目については本書p.7を参照してください。

6. カリキュラムマップ

カリキュラムの内容と関連性

洋画コースのカリキュラムは以下のような体系で構成されています。

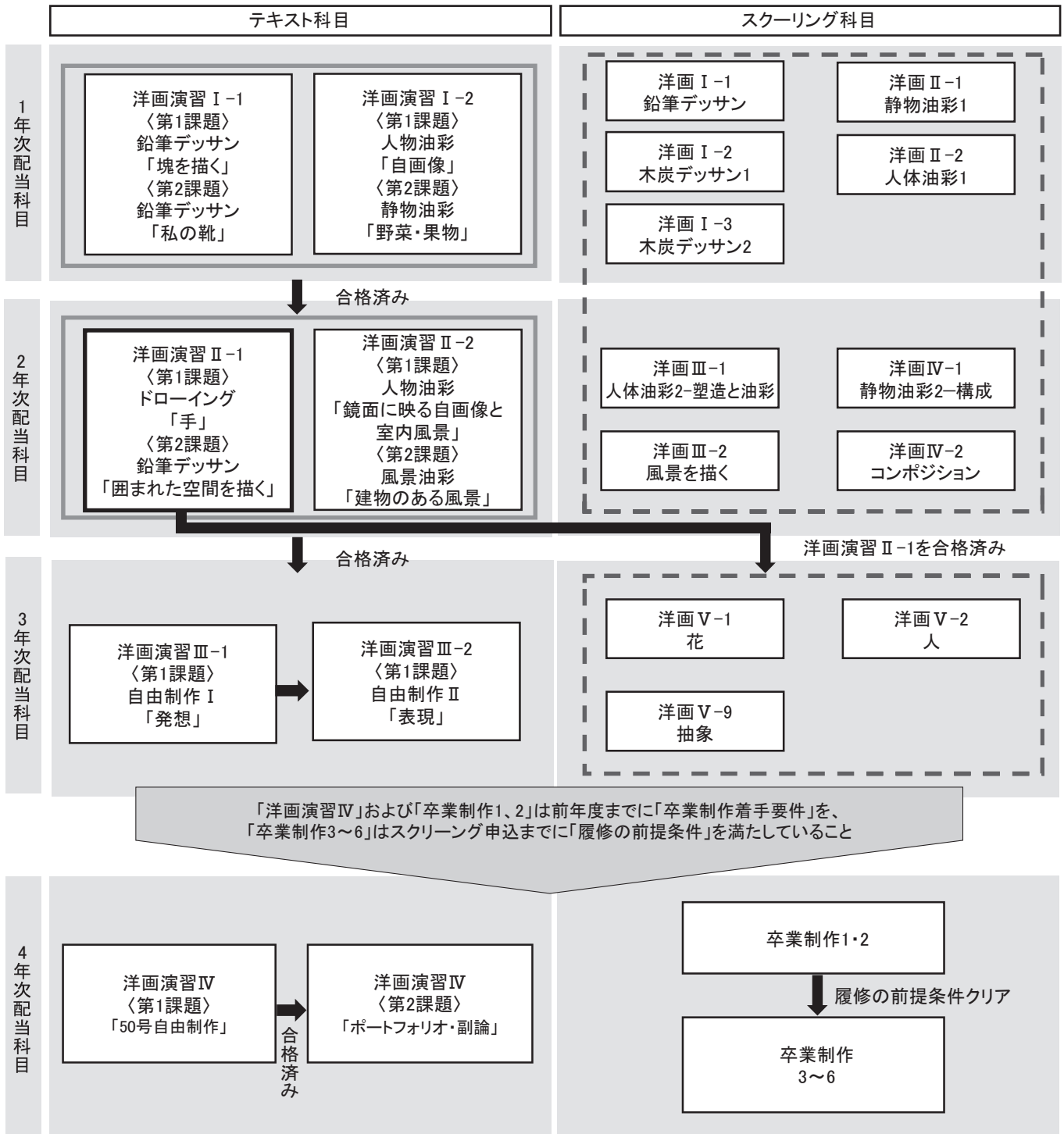
TW テキスト作品科目
 TX テキスト特別科目
 S スクーリング科目
 必 必修科目
 選 選択必修科目



	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
観察と描写 対象を観察し、絵画表現に必要な形態、明暗、空間などを学ぶ。 基礎的な描写力を育てる。	S 洋画演習 I-1 (第1課題) 必 鉛筆デッサン「塊を描く」 (第2課題) 必 鉛筆デッサン「私の靴」	S 洋画 III-2 必 風景を描く		
	S 洋画 I-1 必 鉛筆デッサン			
	S 洋画 I-2 必 木炭デッサン1	TW 洋画演習 II-1 (第2課題) 必 囲まれた空間を描く		
	S 洋画 II-2 必 人体油彩1			
色彩と構成 対象を観察し、絵画表現に必要な色彩の働きや構成などを学ぶ。 絵具など画材に慣れ親しむ。	TW 洋画演習 I-2 (第1課題) 必 人物油彩「自画像」 (第2課題) 必 静物油彩「野菜・果物」	S 洋画 III-1 必 人体油彩2—塑造と油彩		
	S 洋画 I-3 必 木炭デッサン2	TW 洋画演習 II-2 (第2課題) 必 建物のある風景		
	S 洋画 II-1 必 静物油彩1			
継続と掘り下げ 繰り返し観察することで表現を掘り下げる。 観察から発見へつなげる。			TW 洋画演習 III-1 (第1課題) 必 自由制作 I「発想」	
技術と応用 描き、試み、挑戦することで技術力、応用力をつける。		S 洋画 IV-1 必 静物油彩2—構成	TW 洋画演習 III-2 (第2課題) 必 自由制作 II「表現」	TX 洋画演習 IV (第1課題) 必 テーマ研究「50号自由課題」
				S 卒業制作1 必
発想と展開 絵画を創造する意識を持ち、自らの画面を思考する力、展開のため発想する力をつける。		TW 洋画演習 II-2 (第1課題) 必 鏡面に映る自画像と室内風景	S 洋画 V-1 必 花	S 卒業制作2 必
			S 洋画 V-2 必 人	S 卒業制作3 必
社会と歴史 美術史から学び、現代的な視点を併せ持った制作を続けるための研究心を育てる。			S 洋画 V-9 選 抽象	TX 洋画演習 IV (第2課題) 必 プレゼンテーション「ポートフォリオ・副論」
				S 卒業制作4 必
表現と発表 時代と地域に向けた視点を持ち、絵画制作を続けていく力とオリジナリティーを育てる。				S 卒業制作5 必
				S 卒業制作6 必

7. 履修条件図

コース専門演習テキスト科目、コース専門演習スクーリング科目について、配当年次および履修条件を記載しています。履修条件の詳細は、それぞれシラバスで確認してください。



□ : どちらの科目から履修してもよく、2つの科目に同時に取り組むことができる。また、4課題同時提出も可。
 ※科目によって履修条件に注意事項あり（詳しくは各科目のシラバスページを参照）。

□ : どちらの科目から履修してもよい。ただし、2年次配当科目は1年次配当科目を合格後（見込みも含む）に履修することが望ましい。

※各科目が「合格済み」であることは成績（履修状況）が「単位修得見込み」または「単位修得済み」であることを指します。

8. スクーリング日程一覧

スクーリング申込期間はairU学習ガイド>学習方法>スクーリング申込スケジュールをご確認ください

配当年次	科目名	授業内容	単位 (注1)	会場	開講日程	申込期
1 年次 (6 単位)	洋画Ⅰ-1	洋画Ⅰ-1(鉛筆デッサン) K1	1	京都	5/25(土)~5/26(日)	春期
		洋画Ⅰ-1(鉛筆デッサン) T1	1	東京■	5/18(土)~5/19(日)	春期
		洋画Ⅰ-1(鉛筆デッサン) E1	1	遠隔	7/6(土)~7/7(日)	夏期
	洋画Ⅰ-2	洋画Ⅰ-2(木炭デッサン1) K1	1	京都	6/8(土)~6/9(日)	春期
		洋画Ⅰ-2(木炭デッサン1) T1	1	東京■	6/15(土)~6/16(日)	春期
		洋画Ⅰ-2(木炭デッサン1) E1	1	遠隔	7/20(土)~7/21(日)	夏期
	洋画Ⅰ-3	洋画Ⅰ-3(木炭デッサン2) K1	1	京都	6/22(土)~6/23(日)	春期
		洋画Ⅰ-3(木炭デッサン2) T1	1	東京■	6/29(土)~6/30(日)	春期
		洋画Ⅰ-3(木炭デッサン2) E1	1	遠隔	8/24(土)~8/25(日)	夏期
	洋画Ⅱ-1	洋画Ⅱ-1(静物油彩1) K1	1	京都	7/27(土)~7/28(日)	夏期
		洋画Ⅱ-1(静物油彩1) E1	1	遠隔	9/7(土)~9/8(日)	夏期
		洋画Ⅱ-1(静物油彩1) T1	1	東京■	9/28(土)~9/29(日)	夏期
洋画Ⅱ-2	洋画Ⅱ-2(人体油彩1) T1	2	東京■	7/27(土)~7/28(日)および 8/3(土)~8/4(日)	夏期	
	洋画Ⅱ-2(人体油彩1) K1	2	京都	8/31(土)~9/1(日)および 9/21(土)~9/22(日)	夏期	
	洋画Ⅱ-2(人体油彩1) E1	2	遠隔	10/12(土)~10/13(日)および 10/19(土)~10/20(日)	秋期	
2 年次 (6 単位)	洋画Ⅲ-1	洋画Ⅲ-1(人体油彩2-塑造と油彩) K1	2	京都	6/15(土)~6/16(日)および 7/6(土)~7/7(日)	春期
		洋画Ⅲ-1(人体油彩2-塑造と油彩) T1	2	東京■	9/7(土)~9/8(日)および 9/21(土)~9/22(日)	夏期
		洋画Ⅲ-1(人体油彩2-塑造と油彩) E1	2	遠隔	11/9(土)~11/10(日)および 11/16(土)~11/17(日)	秋期
	洋画Ⅲ-2	洋画Ⅲ-2(風景を描く) K1	1	京都	6/1(土)~6/2(日)	春期
		洋画Ⅲ-2(風景を描く) E1	1	遠隔	9/28(土)~9/29(日)	夏期
		洋画Ⅲ-2(風景を描く) T1	1	東京■	10/19(土)~10/20(日)	秋期
	洋画Ⅳ-1	洋画Ⅳ-1(静物油彩2-構成) K1	2	京都	7/13(土)~7/14(日)および 8/3(土)~8/4(日)	夏期
		洋画Ⅳ-1(静物油彩2-構成) T1	2	東京■	10/26(土)~10/27(日)および 11/9(土)~11/10(日)	秋期
		洋画Ⅳ-1(静物油彩2-構成) E1	2	遠隔	12/7(土)~12/8(日)および 12/21(土)~12/22(日)	秋期
洋画Ⅳ-2	洋画Ⅳ-2(コンポジション) K1	1	京都	11/30(土)~12/1(日)	秋期	
	洋画Ⅳ-2(コンポジション) T1	1	東京■	2025/1/11(土)~1/12(日)	冬期	
	洋画Ⅳ-2(コンポジション) E1	1	遠隔	2025/1/18(土)~1/19(日)	冬期	
3 年次 (6 単位)	洋画Ⅴ-1	洋画Ⅴ-1(花) K1	2	京都	4/20(土)~4/21(日)および 5/4(土)~5/5(日)	春期
		洋画Ⅴ-1(花) T1	2	東京■	6/8(土)~6/9(日)および 7/6(土)~7/7(日)	春期
		洋画Ⅴ-1(花) E1	2	遠隔	6/1(土)~6/2(日)および 6/22(土)~6/23(日)	春期
	洋画Ⅴ-2	洋画Ⅴ-2(人) T1	2	東京■	5/11(土)~5/12(日)および 5/25(土)~5/26(日)	春期
		洋画Ⅴ-2(人) K1	2	京都	5/18(土)~5/19(日)および 6/15(土)~6/16(日)	春期
		洋画Ⅴ-2(人) E1	2	遠隔	7/27(土)~7/28(日)および 8/24(土)~8/25(日)	夏期

配当年次	科目名	授業内容	単位(注1)	会場	開講日程	申込期
3年次 (6単位)	洋画V-9	洋画V-9(抽象) K1	2	京都	7/20(土)~7/21(日)および 8/17(土)~8/18(日)	夏期
		洋画V-9(抽象) T1	2	東京■	9/21(土)~9/22(日)および 9/28(土)~9/29(日)	秋期
		洋画V-9(抽象) E1	2	遠隔	11/16(土)~11/17(日)および 12/14(土)~12/15(日)	秋期
4年次 (6単位)	卒業制作 (6単位 一括認定)	卒業制作1 K1	(注4)	京都	4/27(土)~4/28(日)	春期 (注2)
		卒業制作1 E1		遠隔	4/27(土)~4/28(日)	
		卒業制作1 T1		東京■	5/4(土)~5/5(日)	
		卒業制作1 E2		遠隔	5/4(土)~5/5(日)	
		卒業制作2 K1		京都	6/29(土)~6/30(日)	
		卒業制作2 E1		遠隔	6/29(土)~6/30(日)	
		卒業制作2 T1		東京■	7/13(土)~7/14(日)	
		卒業制作2 E2		遠隔	7/13(土)~7/14(日)	
		卒業制作3 T1	(注4)	東京■	10/12(土)~10/13(日)	秋期 (注3)
		卒業制作3 E1		遠隔	10/12(土)~10/13(日)	
		卒業制作3 K1		京都	10/26(土)~10/27(日)	
		卒業制作3 E2		遠隔	10/26(土)~10/27(日)	
		卒業制作4 T1		東京■	11/2(土)~11/3(日)	
		卒業制作4 E1		遠隔	11/2(土)~11/3(日)	
		卒業制作4 K1		京都	11/30(土)~12/1(日)	
		卒業制作4 E2		遠隔	11/30(土)~12/1(日)	
		卒業制作5 T1		東京■	12/7(土)~12/8(日)	
		卒業制作5 E1		遠隔	12/7(土)~12/8(日)	
		卒業制作5 K1		京都	12/21(土)~12/22(日)	
		卒業制作5 E2		遠隔	12/21(土)~12/22(日)	
		卒業制作6 T1		東京■	2025/1/11(土)~1/12(日)	
		卒業制作6 E1		遠隔	2025/1/11(土)~1/12(日)	
		卒業制作6 K1		京都	2025/1/18(土)~1/19(日)	
		卒業制作6 E2		遠隔	2025/1/18(土)~1/19(日)	

(注1) 2単位科目で2日間×2回に分割されている科目は両方受講しなければ単位認定されません。

(注2) 「卒業制作1、2」は春期(4~6月)開講分の申込期間に2つのスクーリングをまとめて申し込み。
2024年度春期のスクーリング先行申込開始は4月2日(火)13:00からです。

(注3) 「卒業制作3~6」は秋期(10~12月)開講分の申込期間に4つのスクーリングをまとめて申し込み。
(卒業制作については本書p.8を参照。)

(注4) 「卒業制作1~6」は6単位を一括認定します。

■2024年度スクーリング日程表 各申込スケジュールはairU学習ガイドをご確認ください。

先行募集 申込期	日程	洋画Ⅰ-1～Ⅱ-2 (6単位必修)			洋画Ⅲ-1～Ⅳ-2 (6単位必修)		
		1年次配当					
		京都	遠隔	東京■	京都	遠隔	東京■
春期 (4・5・6月) 4/2～4/6	4/13(土)～4/14(日)						
	4/20(土)～4/21(日)						
	4/27(土)～4/28(日)						
	5/4(土)～5/5(日)						
	5/11(土)～5/12(日)						
	5/18(土)～5/19(日)			洋画Ⅰ-1 (鉛筆デッサン)T1			
	5/25(土)～5/26(日)	洋画Ⅰ-1 (鉛筆デッサン)K1					
	6/1(土)～6/2(日)				洋画Ⅲ-2 (風景を描く)K1		
	6/8(土)～6/9(日)	洋画Ⅰ-2 (木炭デッサン)K1					
	6/15(土)～6/16(日)			洋画Ⅰ-2 (木炭デッサン)T1	洋画Ⅲ-1(人体油彩2 -塑造と油彩)K1※前半		
	6/22(土)～6/23(日)	洋画Ⅰ-3 (木炭デッサン)K1					
6/29(土)～6/30(日)			洋画Ⅰ-3 (木炭デッサン)T1				
夏期 (7・8・9月) 5/17～5/25	7/6(土)～7/7(日)		洋画Ⅰ-1 (鉛筆デッサン)E1		洋画Ⅲ-1(人体油彩2 -塑造と油彩)K1※後半		
	7/13(土)～7/14(日)				洋画Ⅳ-1(静物油彩 2-構成)K1※前半		
	7/20(土)～7/21(日)		洋画Ⅰ-2 (木炭デッサン)E1				
	7/27(土)～7/28(日)	洋画Ⅱ-1 (静物油彩)K1		洋画Ⅱ-2 (人体油彩)T1※前半			
	8/3(土)～8/4(日)			洋画Ⅱ-2 (人体油彩)T1※後半	洋画Ⅳ-1(静物油彩 2-構成)K1※後半		
	8/10(土)～8/11(日)						
	8/17(土)～8/18(日)						
	8/24(土)～8/25(日)		洋画Ⅰ-3 (木炭デッサン)E1				
	8/31(土)～9/1(日)	洋画Ⅱ-2 (人体油彩)K1※前半					
	9/7(土)～9/8(日)		洋画Ⅱ-1 (静物油彩)E1				洋画Ⅲ-1(人体油彩2 -塑造と油彩)T1※前半
	9/14(土)～9/15(日)						
	9/21(土)～9/22(日)	洋画Ⅱ-2 (人体油彩)K1※後半					洋画Ⅲ-1(人体油彩2 -塑造と油彩)T1※後半
	9/28(土)～9/29(日)			洋画Ⅱ-1 (静物油彩)T1		洋画Ⅲ-2 (風景を描く)E1	
秋期 (10・11・12月) 8/17～8/26	10/5(土)～10/6(日)						
	10/12(土)～10/13(日)		洋画Ⅱ-2 (人体油彩)E1※前半				
	10/19(土)～10/20(日)		洋画Ⅱ-2 (人体油彩)E1※後半				洋画Ⅲ-2 (風景を描く)T1
	10/26(土)～10/27(日)						洋画Ⅳ-1(静物油彩 2-構成)T1※前半
	11/2(土)～11/3(日)						
	11/9(土)～11/10(日)				洋画Ⅲ-1(人体油彩2 -塑造と油彩)E1※前半		洋画Ⅳ-1(静物油彩 2-構成)T1※後半
	11/16(土)～11/17(日)				洋画Ⅲ-1(人体油彩2 -塑造と油彩)E1※後半		
	11/23(土)～11/24(日)						
	11/30(土)～12/1(日)				洋画Ⅳ-2 (コンポジション)K1		
	12/7(土)～12/8(日)					洋画Ⅳ-1(静物油彩 2-構成)E1※前半	
	12/14(土)～12/15(日)						
	12/21(土)～12/22(日)					洋画Ⅳ-1(静物油彩 2-構成)E1※後半	
	12/28(土)～12/29(日)						
冬期 (1・2・3月) 11/16～11/25	1/4(土)～1/5(日)						
	1/11(土)～1/12(日)						洋画Ⅳ-2 (コンポジション)T1
	1/18(土)～1/19(日)					洋画Ⅳ-2 (コンポジション)E1	
	1/25(土)～1/26(日)						
	2/1(土)～2/2(日)						
	2/8(土)～2/9(日)						
	2/15(土)～2/16(日)						
2/22(土)～2/23(日)							

洋画V-1~9 (6単位選択必修)			卒業制作(※1)			日程	申込期
3年次配当			4年次配当				
京都	遠隔	東京■	京都	遠隔	東京■		
						4/13(土)~4/14(日)	春期 (4・5・6月) 4/2~4/6
洋画V-1 (花)K1※前半						4/20(土)~4/21(日)	
			卒業制作1 K1	卒業制作1 E1		4/27(土)~4/28(日)	
洋画V-1 (花)K1※後半				卒業制作1 E2	卒業制作1 T1	5/4(土)~5/5(日)	
		洋画V-2 (人)T1※前半				5/11(土)~5/12(日)	
洋画V-2 (人)K1※前半						5/18(土)~5/19(日)	
		洋画V-2 (人)T1※後半				5/25(土)~5/26(日)	
	洋画V-1 (花)E1※前半					6/1(土)~6/2(日)	
		洋画V-1 (花)T1※前半				6/8(土)~6/9(日)	
洋画V-2 (人)K1※後半						6/15(土)~6/16(日)	
	洋画V-1 (花)E1※後半					6/22(土)~6/23(日)	
			卒業制作2 K1	卒業制作2 E1		6/29(土)~6/30(日)	
		洋画V-1 (花)T1※後半				7/6(土)~7/7(日)	夏期 (7・8・9月) 5/17~5/25
				卒業制作2 E2	卒業制作2 T1	7/13(土)~7/14(日)	
洋画V-9 (抽象)K1※前半						7/20(土)~7/21(日)	
	洋画V-2 (人)E1※前半					7/27(土)~7/28(日)	
						8/3(土)~8/4(日)	
						8/10(土)~8/11(日)	
洋画V-9 (抽象)K1※後半						8/17(土)~8/18(日)	
	洋画V-2 (人)E1※後半					8/24(土)~8/25(日)	
						8/31(土)~9/1(日)	
						9/7(土)~9/8(日)	
						9/14(土)~9/15(日)	
		洋画V-9 (抽象)T1※前半				9/21(土)~9/22(日)	
		洋画V-9 (抽象)T1※後半				9/28(土)~9/29(日)	
						10/5(土)~10/6(日)	秋期 (10・11・12月) 8/17~8/26
				卒業制作3 E1	卒業制作3 T1	10/12(土)~10/13(日)	
						10/19(土)~10/20(日)	
			卒業制作3 K1	卒業制作3 E2		10/26(土)~10/27(日)	
				卒業制作4 E1	卒業制作4 T1	11/2(土)~11/3(日)	
						11/9(土)~11/10(日)	
	洋画V-9 (抽象)E1※前半					11/16(土)~11/17(日)	
						11/23(土)~11/24(日)	
			卒業制作4 K1	卒業制作4 E2		11/30(土)~12/1(日)	
				卒業制作5 E1	卒業制作5 T1	12/7(土)~12/8(日)	
	洋画V-9 (抽象)E1※後半					12/14(土)~12/15(日)	
			卒業制作5 K1	卒業制作5 E2		12/21(土)~12/22(日)	
						12/28(土)~12/29(日)	
						1/4(土)~1/5(日)	冬期 (1・2・3月) 11/16~11/25
				卒業制作6 E1	卒業制作6 T1	1/11(土)~1/12(日)	
			卒業制作6 K1	卒業制作6 E2		1/18(土)~1/19(日)	
						1/25(土)~1/26(日)	
						2/1(土)~2/2(日)	
						2/8(土)~2/9(日)	
						2/15(土)~2/16(日)	
						2/22(土)~2/23(日)	

(※1)「卒業制作」は対面(京都・東京)と遠隔(ZOOM)を同日同時開講予定です。
 京都(K1)・東京(T1)・遠隔(E1またはE2)のうち、いずれか1つを選択し申し込んでください。
 詳細はシラバス「卒業制作」を確認してください。
 ・「卒業制作1,2」は春期(4~6月)の申込期間に2つのスクーリングを同時に申込み。
 ・「卒業制作3~6」は秋期(10~12月)の申込期間に4つのスクーリングを同時に申込み。
 (※2)「卒業制作6」は卒業制作展に向けた準備のため、原則、京都または東京の対面授業で受講してください。

9. 履修モデル

1年次入学生履修モデル [卒業要件124単位以上]

入学区分に応じた履修モデルを紹介します。参考にしながら履修プランを立ててみましょう。

1年目																	
科目群・区分	科目名	単位数	履修形態 (注1)	必修/選択 (注2) 2021年度 以降入学	必修/選択 (注2) 2020年度 以前入学	春期			夏期			秋期			冬期		
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合教育科目 (注3)	ことばと表現	1	TR						レポート		試験						
	心理学	2	TR												レポート		試験
	色彩と形	2	TR												レポート		試験
	デッサン	2	TW										第1課題				
	はじめての共通科目	1	S						初回提出/中間講評/最終提出								
	数と世界	2	S						初回提出/中間講評/最終提出								
	伝統芸術基礎 (伝統芸能)	1	S													2日間	
専門教育科目 (注3)	学術共通専門教育科目	2	TW										第1課題				
	立体的造形演習1	2	TW							第1課題							
	芸術史講義 (日本) 1	2	WS				動画視聴	レポート	講評視聴								
	芸術史講義 (日本) 2	2	WS							動画視聴	レポート	講評視聴					
	芸術史講義 (ヨーロッパ) 1	2	WS									動画視聴	レポート	講評視聴			
	芸術史講義 (ヨーロッパ) 2	2	WS											動画視聴	レポート	講評視聴	
	コース専門演習T科目	2	TW	●	●			第1課題			第2課題						
	洋画演習 I-2	2	TW	●	●							第1課題				第2課題	
	コース専門演習S科目 (注4)	1	S	●	●		2日間										
	洋画 I-2	1	S	●	●			2日間									
	洋画 I-3	1	S	●	●			2日間									
	洋画 II-1	1	S	●	●				2日間								
洋画 II-2	2	S	●	●							2日間						
1年目の修得単位数		33															

2年目																	
科目群・区分	科目名	単位数	履修形態 (注1)	必修/選択 (注2) 2021年度 以降入学	必修/選択 (注2) 2020年度 以前入学	春期			夏期			秋期			冬期		
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合教育科目 (注3)	身体と表現	2	S						初回提出/中間講評/最終提出								
	京都を学ぶ	2	TR						レポート		試験						
	詩学への案内	2	TR							レポート		試験					
	文化研究1	2	TR									レポート		試験			
	哲学への階段	1	S								2日間						
	入門デッサン4	1	S				2日間										
	基礎デッサン3	1	S					2日間									
専門教育科目 (注3)	学術共通専門教育科目	2	TR												レポート	試験	
	芸術史講義 (アジア) 1	2	WS								動画視聴	レポート	講評視聴				
	芸術史講義 (アジア) 2	2	WS											動画視聴	レポート	講評視聴	
	芸術史講義 (近現代) 1	2	WS				動画視聴	レポート	講評視聴								
	芸術史講義 (近現代) 2	2	WS						動画視聴	レポート	講評視聴						
	芸術史講義 (ヨーロッパ) 3	2	WS								動画視聴	レポート	講評視聴				
	芸術史講義 (ヨーロッパ) 4	2	WS											動画視聴	レポート	講評視聴	
	コース専門演習T科目	2	TW	●	●			第1課題		第2課題							
	洋画演習 II-2	2	TW	●	●					第1課題			第2課題				
	コース専門演習S科目 (注4)	2	S	●	●		2日間	2日間									
	洋画 III-1	2	S	●	●			2日間	2日間								
	洋画 III-2	1	S	●	●			2日間									
洋画 IV-1	2	S	●	●				2日間	2日間								
洋画 IV-2	1	S	●	●							2日間						
2年目の修得単位数		35															

3年目																		
科目群・区分	科目名	単位数	履修形態(注1)	必修/選択(注2) 2021年度以降入学	必修/選択(注2) 2020年度以前入学	春期			夏期			秋期			冬期			
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
総合教育科目 (注3)	学際的な知への案内	2	TR									レポート		試験				
	日本文化論	2	TR									レポート		試験				
	地域を探索	2	TR						レポート		試験							
	文学研究への階段	1	S								2日間							
	考古学への階段	1	S							2日間								
	学芸基礎講義1	1	GS							GS								
	学芸基礎講義2	1	GS														GS	
学部共通専門教育科目 (注3)	芸術理論2	2	TR													レポート	試験	
	色彩表現基礎	2	TW			第1課題												
	形態表現基礎	2	TW													第1課題		
	芸術史講義(日本)3	2	WS			動画視聴	レポート	講評視聴										
	芸術史講義(日本)4	2	WS					動画視聴	レポート	講評視聴								
	芸術史講義(近現代)3	2	WS								動画視聴	レポート	講評視聴					
	芸術史講義(近現代)4	2	WS												動画視聴	レポート	講評視聴	
	コース専門演習T科目	洋画演習Ⅲ-1	2	TW	●	●		第1課題										
		洋画演習Ⅲ-2	2	TW	●	●						第1課題						
	コース専門演習S科目(注4)	洋画Ⅴ-1	2	S	●	●	2日間	2日間										
洋画Ⅴ-2		2	S	●	●		2日間	2日間										
洋画Ⅴ-9		2	S	●	○								2日間	2日間				
3年目の修得単位数		34																

4年目																	
科目群・区分	科目名	単位数	履修形態(注1)	必修/選択(注2) 2021年度以降入学	必修/選択(注2) 2020年度以前入学	春期			夏期			秋期			冬期(注5)		
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合教育科目 (注3)	文化研究3	2	TR					レポート		試験							
	列島考古学	2	TR						レポート		試験						
	社会学	2	TR								レポート		試験				
	基礎デッサン6	1	S									2日間					
	伝統芸術基礎(煎茶)	1	S														
学部共通専門教育科目 (注3)	写真論2	2	TR					レポート		修得試験							
	芸術史講義(アジア)3	2	WS					動画視聴	レポート	講評視聴							
	立体造形演習2	2	TW						第1課題								
	コース専門演習T科目	洋画演習Ⅳ(注6)	4	TX	●	●				第1課題						第2課題	
コース専門演習S科目(注4)	卒業制作	6	S	●	●	2日間	2日間					2日間	2日間	2日間	2日間		
4年目の修得単位数		24															

4年間の合計・内訳	126 単位 (うち S69 単位)	総合教育科目 : 40単位	コース専門演習T科目 : 16単位
		学部共通専門教育科目 : 46単位	コース専門演習S科目 : 24単位

- (注1) TR: テキストレポート科目 TW: テキスト作品科目 TX: テキスト特別科目
S: スクーリング科目 WS: ウェブスクーリング科目 GS: 芸術学舎科目 本書p.6参照
- (注2) ●=必修科目 [必ず単位を修得することが求められる科目]
○=選択必修科目 [いずれかを選択して必要な単位数を修得することが求められる科目]
空白=選択科目
- (注3) 選択科目については一例です。シラバスで内容を確認し専門教育科目の履修にあわせて計画を立ててください。
- (注4) コース専門演習S科目のスクーリングは全て京都および遠隔日程としています。東京会場で受講される方はスケジュールをご確認ください。
- (注5) 卒業を予定されている年度には、卒業関連科目〔「洋画演習Ⅳ」「卒業制作」〕以外の科目を冬期(1月~3月)に履修することはできません。秋期(10月~12月)までに必ず卒業関連科目以外の科目の履修を完了するよう学習を進めてください。
- (注6) 課題は指定期間に提出します。詳細はシラバス該当ページ参照のこと

3年次編入学生履修モデル[卒業要件62単位以上・専門52単位以上]

入学区分に応じた履修モデルを紹介します。参考にしながら履修プランを立ててみましょう。

1年目																	
科目群・区分	科目名	単位数	履修形態 (注1)	必修/選択 (注2) 2021年度以降入学	必修/選択 (注2) 2020年度以前入学	春期			夏期			秋期			冬期		
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合教育科目 (注3)	ことばと表現	1	TR						レポート		試験						
	デッサン	2	TW													第1課題	
	はじめての共通科目	1	S						初回提出/中間講評/最終提出								
	伝統芸術基礎(煎茶)	1	S					2日間									
	学芸基礎講義1	1	GS							GS							
専門教育科目	学部共通専門教育 (注3)	写真論1	2	TR								レポート		試験			
		写真論2	2	TR								レポート		試験			
		コラージュ・デッサン	2	TW												第1課題	
		芸術史講義(ヨーロッパ)1	2	WS			動画視聴	レポート	講評視聴								
		芸術史講義(ヨーロッパ)2	2	WS												動画視聴	レポート
	コース専門演習T科目	洋画演習Ⅰ-1	2	TW	●	●		第1課題		第2課題							
		洋画演習Ⅰ-2	2	TW	●	●			第1課題	第2課題							
		洋画演習Ⅱ-1	2	TW	●	●						第1課題	第2課題				
		洋画演習Ⅱ-2	2	TW	●	●							第1課題		第2課題		
	コース専門演習S科目 (注4)	洋画Ⅰ-1	1	S	●	●		2日間									
		洋画Ⅰ-2	1	S	●	●		2日間									
		洋画Ⅰ-3	1	S	●	●		2日間									
		洋画Ⅱ-1	1	S	●	●					2日間						
		洋画Ⅱ-2	2	S	●	●			2日間	2日間							
洋画Ⅲ-1		2	S	●	●					2日間×2							
洋画Ⅲ-2		1	S	●	●						2日間						
洋画Ⅳ-1		2	S	●	●						2日間	2日間					
洋画Ⅳ-2	1	S	●	●									2日間				
1年目の修得単位数		36															

2年目																	
科目群・区分	科目名	単位数	履修形態 (注1)	必修/選択 (注2) 2021年度以降入学	必修/選択 (注2) 2020年度以前入学	春期			夏期			秋期			冬期(注5)		
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合教育科目 (注3)	詩学への案内	2	TR			レポート		試験									
専門教育科目	学部共通専門教育 (注3)	芸術史講義(近現代)1	2	WS			動画視聴	レポート	講評視聴							卒業制作着手者は卒業年度の冬期に卒業関連科目以外の履修ができません。	
		色彩表現基礎	2	TW							第1課題						
		芸術史講義(近現代)2	2	WS					動画視聴	レポート	講評視聴						
	コース専門演習T科目	洋画演習Ⅲ-1	2	TW	●	●	第1課題										
		洋画演習Ⅲ-2	2	TW	●	●	第1課題										
		洋画演習Ⅳ(注6)	4	TX	●	●				第1課題				第2課題			
		コース専門演習S科目 (注4)	洋画Ⅴ-1	2	S	●	●		2日間	2日間							
	洋画Ⅴ-2		2	S	●	●		2日×2									
洋画Ⅴ-9	2		S	●	○					2日×2							
卒業制作	6		S	●	●		2日間		2日間			2日間	2日間	2日間	2日間		
2年目の修得単位数		28															

2年間の合計・内訳	64 単位	総合教育科目 : 8単位	コース専門演習T科目 : 16単位
		学部共通専門教育科目 : 16単位	コース専門演習S科目 : 24単位

- (注1) TR: テキストレポート科目 TW: テキスト作品科目 TX: テキスト特別科目
S: スクーリング科目 WS: ウェブスクーリング科目 GS: 芸術学舎科目 本書p.6参照
- (注2) ●=必修科目 [必ず単位を修得することが求められる科目]
○=選択必修科目 [いずれかを選択して必要な単位数を修得することが求められる科目]
空白=選択科目
- (注3) 選択科目については一例です。シラバスで内容を確認し専門教育科目の履修にあわせて計画を立ててください。
- (注4) コース専門演習S科目のスクーリングは全て東京および遠隔日程としています。京都会場で受講される方はスケジュールをご確認ください。
- (注5) 卒業を予定されている年度には、卒業関連科目(「洋画演習Ⅳ」「卒業制作」)以外の科目を冬期(1月~3月)に履修することはできません。秋期(10月~12月)までに必ず卒業関連科目以外の科目の履修を完了するよう学習を進めてください。
- (注6) 課題は指定期間に提出します。詳細はシラバス該当ページ参照のこと

10. 専門演習テキスト科目 (TW・TX)

コース専門演習テキスト科目は自宅で作品制作を行う科目です。

自宅でairUマイページにてシラバスを確認の上、参考資料やairUで提供されるWEB教材、参考作品などを手がかりに学習し作品を完成させます。完成した作品の実物を郵便・窓口、またはairUの指定ページへ提出し、教員の添削指導を受けて合格すれば完了です。

■履修について

1年次配当科目

・デッサンでは、画材の使い方を工夫すると同時に、失敗を怖がらずに課題の意図に沿った制作をしっかりと時間をかけて行ってください。各課題に共通することですが、見ることと描くことを何度も繰り返すことが重要です。

・テキスト科目で油彩を始める場合は、画材の使い方にあまり神経質にならずのびのびとした制作を心がけてください。初めて油彩用具を扱う方は、シラバスの「油彩画の基礎知識」を読んでおいてください。

2年次配当科目

・対象への観察を基本に造形とは何か、構成とは何かを学んでいきます。また、授業を受ける中で美術史にも興味を広げ、各時代の絵画の歴史的な位置や役割、画面構成、造形要素についても学ぶようにしてください。

・テキスト科目の中にドローイングがあります。画面を描く上で模索し、線を引く、色を置くという行為は、絵画意識や技術の向上に大変役に立ちます。課題のみにとどまらず、常に描くことを習慣づけるようにしてください。

3年次配当科目

・自由制作を通して各自のテーマを探っていきます。好き嫌いや趣味に偏らず、多くの古典や近・現代の絵画作品等にも触れながらそれぞれの表現を追求してください。1、2年次の制作の中にも引き続き追求する点は多々潜んでいます。見ること、描くことの積み重ねを通して、じっくりと自分らしさを探ってください。

4年次配当科目

・卒業制作は、一年を通し、常に担当教員との対話で進められていきます。卒業制作の下絵（エスキース）制作に始まり、各自のテーマを掘り下げるために十分な時間を設けて本画制作に入ります。スクーリング以外にも中間講習会などが行われ、教員がアシストします。

「洋画演習Ⅳ」第1・2課題はスクーリングの中で事前に相談ができます。

■履修順序と前提条件

テキスト科目では、着実にステップアップするために年次ごとに履修の前提条件を設けています。1年次科目→2年次科目→3年次科目→4年次科目（卒業制作）の順に履修してください。同じ年次の科目どうしでは履修順序はなく同時履修が可能です。ただし以下のように3年次と4年次の課題で一部に制約がありますのでご注意ください。

<テキスト科目の履修の前提条件>

年次	履修の前提条件（注1）	備考
1年次 [2科目4課題]	なし	提出順序の制約なし 2科目同時提出可
2年次 [2科目4課題]	1年次テキスト科目を全て合格済みであること	提出順序の制約なし 2科目同時提出可
3年次 [2科目2課題]	2年次テキスト科目を全て合格済みであること	提出順序の制約なし（注2） 2科目同時提出可
4年次 [1科目2課題]	卒業制作着手要件を満たしていること	第1課題合格後、第2課題提出

（注1）各科目が「合格済み」であることは成績（履修状況）が「単位修得見込み」または「単位修得済み」であることを指します。

（注2）課題の設定上、可能な限り「洋画演習Ⅲ-1」から履修してください。

■単年度履修

1科目に2つの課題が設定されている科目は、どちらか1課題が合格しただけでは単位修得できません。また、テキスト科目においては、同一年度内にすべての課題に合格しなければ合格した課題が無効になり、次年度以降あらためて取り組まなくてはなりません。

必ず年度内に2課題とも合格し、単位修得するようにしてください。

■課題の提出について

各科目・課題ごとに「初回提出物」、「再提出物」などの重要な事項が記載されています。提出条件が守られていないと課題作品が受付されない場合がありますので、シラバスをよく読み、間違いのないよう提出してください。また、提出にあたっての基本ルールは、airU学習ガイドを併せて参照してください。下記に、課題提出に関して共通する注意点をいくつかあげておきます。

①作品の送付

送付方法について各科目のシラバス、airU学習ガイド>3.学習方法>テキスト科目>TW科目（作品課題/郵送・窓口）を確認してください。

②氏名等の記入

作品への「学籍番号、氏名、科目名、第○課題、○回目提出」等の記入は、下記を目安にしてください。また、木枠やキャンバスへの記入は、必ず油性マーカーを使用してください。

- ・画用紙：裏面に記入。→画面を内側にして巻き、作品提出用角筒に入れて送付。
- ・クロッキー帳：表紙右下に記入。
- ・ドローイング：表紙右下にペンで記入。→絵画作品送付用平箱（F10号）に入れて送付。
- ・ポートフォリオ：表紙と背表紙にペン又はワープロで記入。→作品提出用大型封筒に入れて送付。
- ・キャンバス：木枠から外し、表面右下余白部分（張りしろ）に油性マーカーで記入。→画面を外側にして巻き、作品提出用角筒または作品提出用角筒（大）に入れて送付。

■洋画演習Ⅳ（TX）の提出について

「洋画演習Ⅳ（TX）」の提出期間は個別に設定されています。airUマイページからシラバスを確認してください。この科目には第1課題と第2課題があり、第1課題のみairU、もしくは郵送・窓口提出となっています。

airUから提出時の注意事項

まずairU学習ガイドでairUを利用した課題提出方法とその注意点を把握しておいてください。

- ・原則、パソコンやインターネット等のトラブルによって課題提出が間に合わなかった場合でも例外的な受付措置は出来ません。自らトラブルの発生を防ぐ策を講じてください。万が一提出期限の間にトラブルが生じた場合は、コンシェルジュまたはメールアドレス（question@air-u.kyoto-art.ac.jp）宛に締切日当日の13:00までに具体的なトラブル内容を報告してください。トラブル内容を正確に把握するため、電話での連絡は受け付けていません。必ずコンシェルジュまたはメールにて連絡してください

11. 専門演習スクーリング科目 (S)

コース専門演習スクーリング科目とは、事前学習と2日間（2単位の科目は2日間×2回）の対面または遠隔授業で構成される科目です。科目の到達目標に応じて設定される課題に事前課題と授業を通して取り組み、それぞれ作品を完成させます。

履修にあたってのルール

●履修の推奨順序と前提条件

1年次配当科目 2年次配当科目

1年次配当の「洋画Ⅰ-1～Ⅱ-2」と2年次配当の「洋画Ⅲ-1～Ⅳ-2」の9科目は配当年次以外に履修の前提条件はなく、年次が到達していれば自由に受講が可能です。ですが可能な限り「洋画Ⅰ-1～Ⅰ-3」を先に受講することが望ましく、カリキュラムは1年次科目→2年次科目→3年次科目の順で受講していただくことを想定しています。

3年次配当科目

- ・履修の前提条件があります。▶下表<スクーリング科目の履修の前提条件>参照。
- ・2021年度より、7単位以上の履修は出来ませんのでご注意ください。

4年次配当科目

- ・「卒業制作1、2」は前年度までに「卒業制作着手要件」を、「卒業制作3～6」はスクーリング申込までに履修の前提条件を満たしておく必要があります（本書pp.8～9参照）。
- ・卒業制作の単位認定は、「卒業制作1～6」合わせて6単位一括認定となります（最終的には「洋画演習Ⅳ」（4単位）と合わせて10単位一括認定となります）。
- ・「卒業制作6」はWEB卒業制作展用の作品撮影等、準備が必要となりますので、原則対面（京都または東京）で受講してください。（詳細はシラバス「卒業制作」参照。）
- ・「卒業制作6」で東京会場を選択した場合、卒業制作展のために京都へ作品を送付する必要があり、別途、梱包と送付費用がかかります。

<スクーリング科目の履修の前提条件>

年次	履修の前提条件	
1年次	なし	
2年次	なし	
3年次	スクーリング申込時期までに以下のテキスト科目を合格済みであること。 「洋画演習Ⅱ-1」	
4年次	卒業制作1、2	昨年度末までに卒業制作着手要件を満たしていること
	卒業制作3～6	スクーリング申込までに本書p.8の「卒業制作3～6」の履修の前提条件を満たしていること

※各科目が「合格済み」であることは成績（履修状況）が「単位修得見込み」または「単位修得済み」であることを指します。

●スクーリング受講成立条件と欠席・遅刻・早退の取り扱い

スクーリング科目では「事前課題の取り組み」「1単位につき2日間（全10講時）の出席（2単位科目は4日間）」「作品・成果物の完成と講評会」が認められることで受講が成立します。

欠席はもちろんですが、遅刻、早退、中抜けも、確認された段階で欠席扱いとなり単位認定対象から外れますので十分に注意してください。これらの受講成立条件は、遠隔授業の場合も同様です。

当日、やむを得ず欠席の場合は速やかに連絡をしてください。（▶「airU学習ガイド>3.学習方法>スクーリング科目 (S)>受講にあたって」参照）

申し込みについて

●申込方法（先行募集）とキャンセル手続き

スクーリング科目は、3ヶ月に1度、開講の前の期に先行募集を行います。airUマイページより申し込んでください。受講許可が出た後は、キャンセル時期によって10～100%のキャンセル料が発生しますので注意してください。（▶詳しくは「airU学習ガイド>3.学習方法>スクーリング科目（S）>スクーリングキャンセル・欠席の手続」参照）

●追加募集申込

定員に空きがある科目はスクーリング開講日の30～5日前までairUマイページにて随時追加募集を行います。空きの無い場合募集を行いませんので、受講予定の科目は必ず先行募集で申し込んでください。ただし、キャンセル等が出て定員に空きがでた場合に募集が再開されることもあります。追加募集の有無は、airUマイページで確認できます。

スクーリングに向けての準備

スクーリング授業は自宅学習として取り組む事前課題、授業出席と制作課題による総合評価となります。

●事前課題

事前課題はシラバスの「課題」欄に記載されていますので、各自スクーリング授業前に必ず確認し、事前課題に取り組み、指定の期日までに提出してください。airUマイページの各科目ページに、動画教材や参考資料がある科目もあります。（▶本書pp.3～4参照）

尚、スクーリング授業は、事前課題が完了していることを前提で進めていきます。取り組んでいない場合や指定の持参物が準備できていない場合は、原則として単位認定の対象となりません。

●キャンパスの購入

京都瓜生山キャンパスで受講される際、25号キャンバス、25号木枠、25号キャンバス布に関しては、指定科目に限りADストア（本学購買部）に注文いただければ、受講初日に品物をお渡しすることができます。（▶airUマイページ>教材BOX>補助教材>「ADストアFAX注文票について」を参照）

●大型キャンパスの事前送付について

スクーリング受講にあたり、個人荷物（画材等）を事前にお預かりすることは原則できません。

但し、F15号以上の大型キャンバスに限り、指定された期間に大学へ事前送付が可能です。

希望の方は、以下の手順に沿って事前送付を行ってください。

※大学への送付受付はキャンパスのみとなります。画材等は受付できません。

大型キャンバス事前送付の流れ

1. 各科目のシラバス「持参物/準備物」欄に記載の大型キャンバス事前送付指定期間を確認する。
2. airUマイページ>教材BOX>補助教材に掲載されている「大型キャンバス事前送付上の注意点」の内容を確認する。
3. 配達日（期間）を指定し、元払いにて以下の送付先に送付する。（ゆうパック不可）

【キャンバス送付先】

・京都会場（瓜生山キャンパス）

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116

学校法人瓜生山学園 京都芸術大学 通信洋画研究室宛

・東京会場（外苑キャンパス）

〒107-0061 東京都港区北青山1-7-15

学校法人瓜生山学園 京都芸術大学 東京外苑キャンパス 通信洋画研究室宛

※伝票にスクーリング名を必ずご記入ください。

4. スクーリング当日、教室にてキャンバスを受け取る

注意事項

※個人での事前搬入は原則認めておりません。運送業者をご利用ください。

※指定期間以外の受付は不可となっています。

飛行機移動における スクーリング持参物について

下記は医薬品以外の危険物扱いの為、空港で没収されますのでご注意ください。

＜フィキサチーフ、カッター、ブラシクリーナー、オイル、絵具類等＞

機内持ち込み（手荷物）はもちろん、預かりでも没収されるものもありますので詳細は各航空会社のWebサイトでご確認ください。上記のものが持参物に含まれる場合、宿泊先への事前送付、もしくは到着後購入等でご対応ください。

※大学への送付受付はキャンパスのみとなります。画材等は受付できません。

飛行機利用の方で、どうしても送付、到着後購入が難しい場合には、コンシェルジュ宛に開講7日前までにご連絡ください。事前連絡があった場合に限り、貸し出しを検討いたします。事前連絡の際は、以下を明記してください。内容により、貸し出しをお断りする場合があります。

【件名：備品貸し出し希望】

- ①学籍番号 ②氏名 ③科目名 ④貸し出し（または事前送付）希望備品
- ⑤貸し出し（または事前送付）が必要な理由
- ⑥交通手段（航空会社名）

スクーリング終了後

●スクーリング終了後の荷物の返送について

スクーリング終了後、大型キャンバスや画材などを大学から宅配便（着払い）にて自宅へ送ることが可能です。その際の梱包材（段ボール箱、気泡緩衝材（エアキャンプ）、新聞紙等）は各自で用意してください（布ガムテープは大学で用意）。また、京都会場のみスクーリング内でF20号・F25号平箱を販売します。その他はairU学習ガイド＞教材一覧を参照。代金は後日引落しです。販売方法はスクーリング最終日に案内します。

〈注意点〉

- ・大学発送は佐川急便の着払いを利用します。着払いは保険適応されませんので郵送物の破損等は免責対象となります。
- ・発送できるのはキャンパスのみです。画材等は受付出来ません。
- ・発送は業者の都合などにより、スクーリング最終日の翌日に行えるとは限りませんので、貴重品や至急入用のものは同封しないでください。
- ・保険適応されたい場合など、個人で業者へ依頼することも可能です。その場合は必ず依頼者本人立合いのうえ、原則スクーリング終了日の翌日までに搬出してください。また、作品の保管については一切の責任を負いませんので予めご了承ください。

遠隔授業について

- ・PCからログインしてください。サブ的にiPad等使用することは可能です。
- ・遠隔授業では、大学等で対面による授業を受講するのではなく、Zoom（オンライン会議システム）を利用し、自宅にてリアルタイムで授業を受講します。遠隔授業の場合も対面授業を同じく申し込みが必要です。
- ・受講の際には、使用するパソコンのカメラ及びマイク、スピーカー、ネット環境を必ず確認してください。
安定した通信環境が望まれますので、有線LANでの接続を強く推奨します。その他Zoomのインストール等については、airU学習ガイド＞「オンライン会議ソフトウェア「Zoom」について」を確認してください。
- ・受講中はカメラオンで参加してください。カメラのオフは教員から指示があった際のみ可能です。
- ・接続不良等による遅刻、途中退席は基本的に単位認定になりません。安定した環境（有線LAN推奨）からログインしてください。
- ・遠隔日程では受講後2日以内に作品画像をairU「事後課題」にアップロードしてください。
- ・受講方法の詳細については、各科目のシラバスを確認してください。

【キャンバス・紙のサイズについて】

主なキャンバスの号数規格、紙の規格サイズは、以下の通りです。

●キャンバスの号数規格(木枠寸法)

号数	日本サイズ(mm)			
	長辺サイズ	F(人物)	P(風景)	M(海景)
0	180	140	120	100
1	220	160	140	120
SM	227	158		
2	240	190	160	140
3	273	220	190	160
4	333	242	220	190
5	350	270	240	220
6	410	318	273	242
8	455	380	333	273
10	530	455	410	333
12	606	500	455	410
15	652	530	500	455
20	727	606	530	500

号数	日本サイズ(mm)			
	長辺サイズ	F(人物)	P(風景)	M(海景)
25	803	652	606	530
30	910	727	652	606
40	1000	803	727	652
50	1167	910	803	727
60	1303	970	894	803
80	1455	1120	970	894
100	1620	1303	1120	970
120	1940	1303	1120	970
130	1940	1620		
150	2273	1818	1620	1455
200	2590	1940	1818	1620
300	2910	2182	1970	1818
500	3333	2485	2182	1970

※F・P・M型とも、各号の長辺サイズは共通。F・P・Mの数値は、各型の短辺サイズ。

※S(スクエア)型は、表記の長辺サイズの正方形キャンバスです。

●画用紙、ケント紙

四ツ切りは382×542mm、八ツ切りは271×382mmが基準サイズです。

12. 学習支援

学習支援イベント

洋画コースでは、以下のような学習支援イベントを予定しています。

(事情により変更の可能性もあります。)

日程や詳細等は、airUマイページ「お知らせ」欄にてお知らせしますので、定期的に確認してください。

●オンラインオフィスアワー(不定期開催)

Zoomを使用したオンラインによる学習相談会です。教員へ学習に関する相談が出来ます。

●卒業制作ガイダンス(2月～3月開催)

次年度以降卒業制作着手予定の方へ向け、卒業制作の流れについての事前説明、履修相談などを行います。参加は必須ではありません。

●その他各種イベント

新入生ガイダンスやオイル講座、テキスト科目勉強会、公募展など、学生皆さんの状況などから内容を検討しイベントを行っています。(実施内容は毎年変わります。)

●教材BOX

airUマイページ>「教材BOX」(本書p.3参照)では、「雲母」のお知らせや、学習に役立つ「補助教材」資料が確認できます。

入学ガイダンス動画や卒業制作ガイダンス動画も掲載予定の為、こまめにチェックしましょう。

●airUコミュニティについて

「airU (エアールユー) コミュニティ」は本学独自のSNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) です。

このSNSはWebブラウザおよびスマートフォン等のアプリ (iOSおよびandroid /ダウンロード無料) でご利用いただけます。学習に関することや展覧会のお知らせ、学生同士の交流などにぜひ活用しましょう。

(airUコミュニティについての詳細はairU学習ガイド参照。)

- ・ブラウザ版 <https://air-u.community.kyoto-art.ac.jp/#/login>
- ・アプリ版



13. テキスト購入

2022年度より洋画コースで使用しているテキストが、新テキストに変更されています。新入生は、必ず購入してください。

2021年度以前入学生については、旧テキストでも課題の取り組みが可能な為、新テキストの購入は必須ではありませんが、新テキストを購入いただくことを推奨しています。

2021年度までの旧テキスト（計2冊）

- ・「デッサンと基礎」1998年
- ・「技法と表現」1998年



2022年度からの新テキスト（計4冊）

- ・奥田 輝芳編 『洋画 基礎と展開』2020年
- ・山河 全 編 『洋画1 素描と絵画（はじめて学ぶ芸術の教科書）』2019年
- ・山河 全 編 『洋画2 表現の可能性』2019年
- ・奥田 輝芳編 『絵画の生成、メチエの獲得』2021年
発行：京都芸術大学 東北芸術工科大学 出版局 藝術学舎

新テキスト4冊は大学より郵送されませんので、ご自身での購入が必要です。

電子版と印刷製本版（オンデマンドブック）があります。Amazon等インターネットで購入可能です。

テキストの入手方法について、詳細は▶airU学習ガイド>4. 教材・テキスト>【美術科】テキストの入手方法をご参照ください。

教員からのコメント

●新テキストについて

洋画コースのテキストが2巻から4巻になります。

旧テキストはA4版2巻で構成されていますが、新テキストは、B5版2巻、A4版2巻の計4巻になります。B5版2巻は「考え方」を主体とした内容で、A4版2巻は図版を使い創作の様子を具体的に示したものとなっています。旧テキストと同じ内容を踏襲しているところと、全く新しい内容を加えたものとなっています。特に新しいところは様々な世代の作家の創作の裏側を見ることができる写真図版を多く掲載しています。今まで洋画コースで使用されてきた旧テキストで基本的な内容は充分学習できますが、新テキストでは絵画を造形として捉える視点から、材料や制作の手順を掲載し、基礎的学習から大学での学びの集大成、卒業制作までお手元に置いて創作の参考にしていただけるものとなっています。

●テキストの活用について

高校までの教科書のように、購入いただいたテキストをそのまま使用したスクーリング、テキスト科目はありません。ただ、そのヒントとなる技法の説明、表現の種類、作品例などは各所にふんだんに掲載されています。それぞれのテキストにしっかり目を通しておき、授業やテキスト科目などで躓いた時の助け舟にしてください。また、『洋画 基礎と展開』『絵画の生成、メチエの獲得』には講師の作品例、制作方法が惜しみなく掲載されています。自身が講義を受ける教員の作風を知った上で臨まれると、話の聞こえ方が変わるかもしれません。そのような活用方法も模索してみてください。

